



広島県立
廿日市特別支援学校



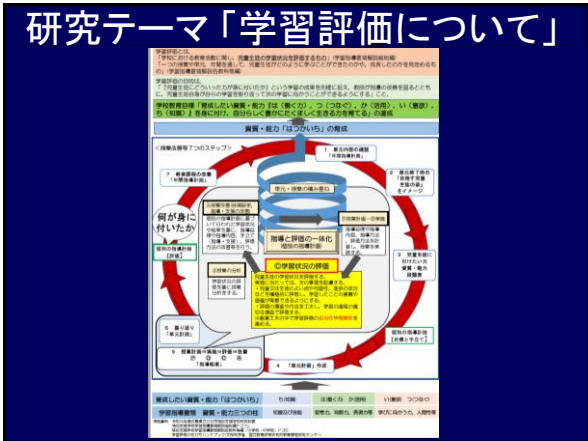
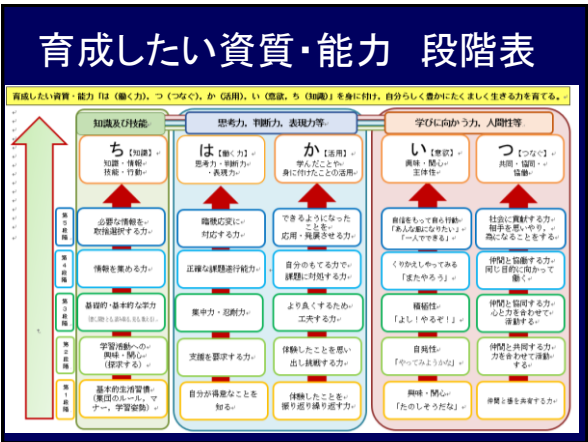
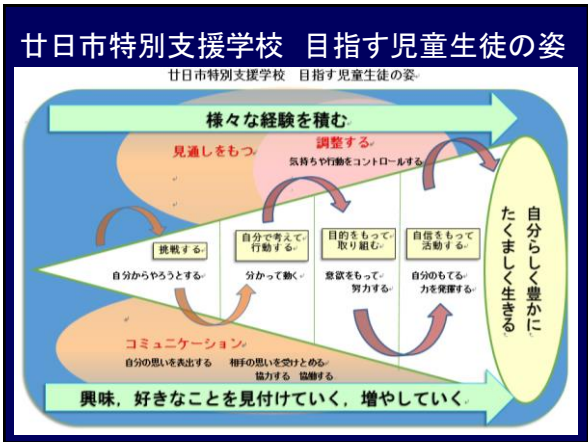
育成したい資質・能力「は(働く力), つ(つなぐ), か(活用), い(意欲), ち(知識)」を身に付け, 自分らしく豊かにたくましく生きる力を育てる。

対日特別実習生「日本の実業」アクション・プラン」の進め方		進め方	
Plan	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
Do	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
Check	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明
	目的と意義を説明	目的と意義を説明	目的と意義を説明

[illegible]

4 「單元(題材)計畫」作成 「授業實踐集」

[illegible]



令和2年度の研究成果と課題

「成果」
単元（題材）計画に児童生徒の学習状況の具体的な記述や、それを基に指導内容の工夫や改善に係る記述が多く見られ、指導と評価の一体化が実現しつつある。

「課題」
育成したい資質・能力を意識した目標を設定するという目標設定の妥当性や、評価の3観点を意識した単元（題材）の評価規準の適切な設定については、引き続き、教職員の理解を深める必要があること分かった。

令和3年度の研究

「学校研究仮説」
授業改善等の7つのステップに基づき、単元（題材）終了時の目指す児童生徒の姿をイメージし、児童生徒に付けたい力を明確にし、個々の目標、評価規準を単元（題材）計画及び指導略案に具体的に記載して指導と学習評価を行うことにより、児童生徒に付けたい資質・能力を付けることができるであろう。

研究推進

研究推進に係る研修会

1学級1授業（公開授業研究会に向けた事前指導）

公開研究授業研究会に向けた取組

- 1 単元づくり検討会
- 2 学習指導案検討会
- 3 授業づくり検討会

公開授業研究会(12月17日～23日 オンデマンド配信)

研究のまとめ(研究紀要)

「学びの変革」研修会

指導略案の活用

学年・学期	単元・主題	指導目標	学習目標
1年次 第1学期	1. 国語	1. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。	1. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
1年次 第2学期	2. 算数	2. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。	2. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
2年次 第1学期	3. 社会	3. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。	3. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
2年次 第2学期	4. 理科	4. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。	4. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。
3年次 第1学期	5. 国語	5. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。	5. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
3年次 第2学期	6. 算数	6. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。	6. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
4年次 第1学期	7. 社会	7. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。	7. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
4年次 第2学期	8. 理科	8. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。	8. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。
5年次 第1学期	9. 国語	9. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。	9. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
5年次 第2学期	10. 算数	10. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。	10. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
6年次 第1学期	11. 社会	11. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。	11. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
6年次 第2学期	12. 理科	12. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。	12. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。

今年度の研究では、日々の指導略案の作成において、評価の3観点及び育成したい資質・能力「はつかいち」を意識して、個々の目標を明記することを全教職員で取り組んでいます。

また、個々の目標における学習状況の評価を適切に読み取るために、評価方法を記載しています。

1学級1授業

授業実践シート	学習目標
1. 国語	1. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
2. 算数	2. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
3. 社会	3. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
4. 理科	4. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。
5. 国語	5. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
6. 算数	6. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
7. 社会	7. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
8. 理科	8. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。
9. 国語	9. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
10. 算数	10. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
11. 社会	11. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
12. 理科	12. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。

1学級1授業

単元の振り分け	本時の振り分け（授業実践シート）
1. 国語	1. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
2. 算数	2. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
3. 社会	3. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
4. 理科	4. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。
5. 国語	5. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
6. 算数	6. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
7. 社会	7. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
8. 理科	8. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。
9. 国語	9. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
10. 算数	10. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
11. 社会	11. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
12. 理科	12. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。

授業改善シートの活用

授業実践シート	学習目標
1. 国語	1. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
2. 算数	2. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
3. 社会	3. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
4. 理科	4. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。
5. 国語	5. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
6. 算数	6. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
7. 社会	7. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
8. 理科	8. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。
9. 国語	9. 国語の基礎知識・技能を身に付け、国語の基礎的な能力を育成する。
10. 算数	10. 算数の基礎知識・技能を身に付け、算数の基礎的な能力を育成する。
11. 社会	11. 社会の基礎知識・技能を身に付け、社会の基礎的な能力を育成する。
12. 理科	12. 理科の基礎知識・技能を身に付け、理科の基礎的な能力を育成する。

「1学級1授業」のまとめ

成果

- ・単元（題材）終了時の目指す児童生徒の姿をイメージし、育成したい資質・能力「はつかいち」段階表に照らし合わせることで、単元の評価規準や個々の目標を具体的に記載することができた。
- ・学習評価を行う際に、「ICT機器や写真等の活用」、「即時評価」、「複数人での評価の共有」等が有効であることが分かった。

「1学級1授業」のまとめ

課題

- ・指導と評価の一体化を意識し、児童生徒の学習状況の評価を基に授業を分析し、次時の授業内容や指導・支援方法を改善する必要がある。
- ・育成したい資質・能力を身に付けるために、評価の場面や方法を工夫したり、学習の適切な場面で評価したりするなど、創意工夫の中で学習評価の信頼性や妥当性を高めていく必要がある。